

請 願 番 号	6	受 理 年 月 日	平 成 2 0 年 7 月 8 日
件 名	後期高齢者医療制度廃止の意見書提出を求める請願		
紹 介 議 員	加 川 義 光		
<p>〔請願趣旨〕</p> <p>2008年4月1日に実施された後期高齢者医療制度への批判が全国各地からわきおこり、制度そのものの廃止を求める声が大きく広がっています。570を超える地方議会からの中止・撤回、あるいは見直しを求める意見書があがっています。制度の中止・撤回を求める署名も560万筆を超えています。31都道府県医師会も「反対」もしくは「慎重な対応」を求めています。与党の国会議員からも「後期高齢者医療制度は、やっぱりおかしい」などの声があがっています。</p> <p>国民を75歳で区別し、別建ての健康保険への加入を強制する制度は、世界のどこにも例がありません。しかも保険料を年金から天引きする、診療にも差別を持ち込むなど、高齢者にとって、あまりにもひどい仕打ちとなる「姥捨て山」制度です。「長生きをするなということか」「とても保険料を払いきれない」「なぜ家族から引き離すのか」など、怒りの声、不安の声が広がるのは当然です。</p> <p>多くの問題をかかえ、国民の厳しい批判にさらされている後期高齢者医療制度は廃止する以外に解決の道はありません。</p> <p>以上の理由から、国に対して後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書を提出されるよう請願します。</p> <p>〔請願事項〕</p> <p>1 後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書を国に対して提出すること</p>			

請 願 番 号	7	受理年月日	平成20年 7月 8日
件 名	後期高齢者医療制度は中止し廃止を求める意見書を政府に提出することを求める請願		
紹 介 議 員	加 川 義 光		
<p>〔請願趣旨〕</p> <p>本年4月1日に実施された後期高齢者医療制度に対し、全国各地で「中止、撤回」を求める声が大きく広がっています。570の地方議会が「見直し」や「中止」を政府に求める意見書が採択されており、「中止、撤回」を求める署名は560万筆を超え、新たな「廃止」署名も続々と集まっています。全国の医師会でも批判が高まり、差別診療報酬を扱わない医師も多数にのぼり、すでに全国医師会の過半数を超す31都道府県医師会が「反対」または「慎重な対応を」と批判的な態度を表明しています。人を75歳で区別し、別建ての医療保険制度をつくり高い保険料を年金から天引きし、差別医療を行うという余りにもひどい医療制度に「家族から切り離される感じがしてさびしい」、「これからどうやって暮らしていいか不安だ」、「長生きするなどということか」など怒りや不安の声が広がっています。人は誰でもが老後の生活を憂いなく楽しく安心して過ごしたいと願っています。この願いを踏みにじって長寿を祝う風習までも否定する「姥捨て山」制度です。このような多くの問題がある後期高齢者医療制度は中止、廃止する以外にありません。憲法第13条「幸福追求権」を侵し、年齢による差別は第14条「法の下での平等」に反しており許せません。年齢で差別する医療制度は世界のどこをみても例がありません。以上の理由から後期高齢者医療制度の中止、廃止を求めるよう福田康夫内閣総理大臣に意見書を送付してください。</p> <p>〔請願事項〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 後期高齢者医療制度の実施をただちに中止し、廃止すること 2 医療予算を増額し高齢者が安心して医療を受けられるようにすること 			

請 願 番 号	8	受 理 年 月 日	平成 20 年 7 月 8 日
件 名	後期高齢者医療制度の保険料について年金からの天引きを中止する意見書提出を求める請願		
紹 介 議 員	加 川 義 光		
<p>〔請願趣旨〕</p> <p>2008年4月1日に実施された後期高齢者医療制度への批判が全国各地からわきおこり、制度そのものの廃止を求める声が大きく広がっています。570を超える地方議会からの中止・撤回、あるいは見直しを求める意見書があがっています。制度の中止・撤回を求める署名も560万筆を超えています。31都道府県医師会も「反対」もしくは「慎重な対応」を求めています。与党の国会議員からも「後期高齢者医療制度は、やっぱりおかしい」などの声があがっています。</p> <p>国民を75歳で区別し、別建ての健康保険への加入を強制する制度は、世界のどこにも例がありません。しかも保険料を年金から天引きする、診療にも差別を持ち込むなど、高齢者にとって、あまりにもひどい仕打ちとなる「姥捨て山」制度です。「長生きをするなということか」「とても保険料を払いきれない」「なぜ家族から引き離すのか」など、怒りの声、不安の声が広がるのは当然です。</p> <p>多くの問題をかかえ、国民の厳しい批判にさらされている後期高齢者医療制度は廃止する以外に解決の道はありません。とりわけ年金からの天引きは本人同意を無視した強制徴収であり、高齢者の生活をおびやかすものです。</p> <p>以上の理由から、国に対して後期高齢者医療制度における保険料の年金天引きをただちに中止する意見書を提出されるよう請願します。</p> <p>〔請願事項〕</p> <p>1 後期高齢者医療制度における保険料の年金天引きをただちに中止する意見書を国に提出すること</p>			

請 願 番 号	9	受 理 年 月 日	平成 20 年 7 月 8 日
件 名	後期高齢者医療制度の保険料軽減等の意見書提出を求める請願		
紹 介 議 員	加 川 義 光		
<p>〔請願趣旨〕</p> <p>2008年4月1日に実施された後期高齢者医療制度への批判が全国各地からわきおこり、制度そのものの廃止を求める声が大きく広がっています。570を超える地方議会からの中止・撤回、あるいは見直しを求める意見書があがっています。制度の中止・撤回を求める署名も560万筆を超えています。31都道府県医師会も「反対」もしくは「慎重な対応」を求めています。与党の国会議員からも「後期高齢者医療制度は、やっぱりおかしい」などの声があがっています。</p> <p>国民を75歳で区別し、別建ての健康保険への加入を強制する制度は、世界のどこにも例がありません。しかも保険料を年金から天引きする、診療にも差別を持ち込むなど、高齢者にとって、あまりにもひどい仕打ちとなる「姥捨て山」制度です。「長生きをするなということか」「とても保険料を払いきれない」「なぜ家族から引き離すのか」など、怒りの声、不安の声が広がるのは当然です。</p> <p>多くの問題をかかえ、国民の厳しい批判にさらされている後期高齢者医療制度は廃止する以外に解決の道はありません。とりわけ保険料負担の軽減、サラリーマンの被扶養者の保険料徴収の中止、保険料未納者からの保険証の取り上げの中止はただちに行うべきです。</p> <p>以上の理由から、国に対して後期高齢者医療制度の保険料の軽減、被扶養者の保険料徴収の中止、保険料未納者からの保険証の取り上げの中止を求める意見書を提出されるよう請願します。</p> <p>〔請願事項〕</p> <p>1 後期高齢者医療制度にかかわる以下の点について国に対して意見書を提出すること</p> <p>(1) 保険料を軽減する措置をとること</p> <p>(2) サラリーマンの被扶養者の保険料徴収は中止すること</p> <p>(3) 保険料未納者からの保険証の取り上げは中止すること</p>			